

二〇二〇年九月二〇日

仏なる路傍の石の秋の声  
よう子

源流の水音かそけき秋の声  
かかし

新米に箸のすすみし夕餉かな  
豊実

盆の月照らす実家に母ひとり  
更紗

かしぎたる案山子深々野球帽  
素秀

砦跡葉擦れにまじる秋の声  
なつき

広縁に足投げ出せば秋の声  
せいじ

生家へは海沿ひの道秋の声  
うつぎ

ZOOM句会みのる選

二〇二〇年九月二〇日